

F2-23

米国カリフォルニア州における日系人に関わる歴史的環境保全に関する研究
—価値評価の観点および評価軸に着目して—

A Study on the Historic Preservation Related to Japanese Americans in California, USA
—Focusing on the Evaluation Method of Historical Value—

○石上秀眞¹, 阿部貴弘²

*Shuma Ishigami¹, Takahiro Abe²

Abstract : This study aims to clarify evaluation methods for the historical value of Japanese American-related historic preservation in California, USA. The results of this research contribute to the promotion of historical environmental preservation related to ethnic groups.

1. はじめに

日系アメリカ人の歴史的環境保全に関わる先行研究では、米国ハワイ州¹⁾やワシントン州²⁾において、文化財として位置付けられている日系人関連物件の歴史的価値を評価する手法が明らかにされてきた。しかし、他州との比較を通じて評価手法をより精緻化することは今後の研究課題として指摘されており、現状ではそれらの評価手法に関する十分な成果が蓄積されているとは言い難い。

そこで本研究では、エスニック・グループに関わる歴史的環境保全の推進に資するよう、米国カリフォルニア州において保全されてきた日系人に関わる歴史的環境を対象とし、それらの歴史的価値の評価手法について明らかにすることを目的としている。

2. 研究方法

本研究では、米国カリフォルニア州における、国による文化財登録制度¹⁾ (National Register of Historic Places, 以下 NR) を調査対象とする。

はじめに、カリフォルニア州における日系人に関わる略史を把握・整理する。次に、先述した制度の概要および登録状況を整理する。登録に際して作成される推薦書類には、「重要性説明」として、登録の可否を審査する評価基準 A~D (Table1) との関連を踏まえ、対象物件の歴史的価値が詳細に記述されている。その記述に日系人との関わりが示されている物件を分析対象として抽出し、記載内容を整理する。そのうえで、各分析対象における「重要性説明」の記載内容を詳細に

分析し、評価手法を明らかにする。

3. 調査結果

3-1. 登録状況

2025年9月15日現在、カリフォルニア州において NR に登録されている 3088 件のうち、日系人との関わりが示されているものを抽出すると、44 件登録されていることが分かった。以下、これらを対象として分析を進める。

3-2. 歴史的環境の類型

分析結果を Figure1 に示す。歴史的環境の各類型に該当する件数の割合を整理すると、NR の分析対象では建造物の割合が最も高く、NR 全体と NR の分析対象を比べると、後者において地区の割合が高いことが分かった。これは、日系人に関わる歴史的環境が単独の建築物の際立った価値として評価されているのではなく、群として評価される傾向にあるためだと考える。すなわち日系人に関わる歴史的価値は個別の建造物の価値だけではなく、地区全体としてのまとまりの中に歴史的価値が見出されることを反映していると考えられる。

4. 分析および考察

4-1. 分析方法

日系人に関わる歴史的環境のようなヴァナキュラーな環境の歴史的価値を顕在化するためには、複数の観点から多面的に評価する必要があるが、阿部の先行研究¹⁾ではその評価手法として「評価の観点」と「評価軸」

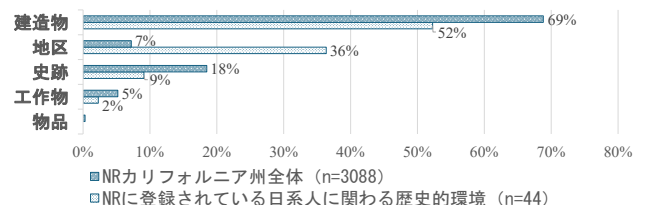


Figure1. Proportion of Historical Environmental Types

Table1. Evaluation Criteria

基準	詳細
評価基準 A	歴史上重要な出来事と関連していること。
評価基準 B	歴史上重要な人物と関連していること。
評価基準 C	株式や工法が特徴的であること、名人や熟練工の代表作であること、または芸術上高い価値を有すること。
評価基準 D	歴史上重要な知見をもたらすことが期待できること。

1 : 日大理工・学部・まち 2 : 日大理工・教員・まち

を設定することが有効であると指摘している。ここでいう「評価の観点」とは、対象物件の歴史的価値を読み解く際に、その物件の価値を顕在化するための着眼点をさす。また「評価軸」とは、各観点のもとで、対象物件の歴史的価値の重要性を測るための尺度をさす。

本研究では、まず、各分析対象の推薦書類の「重要性説明」における価値評価の記述から「評価の観点」および「評価の軸」となる記述を抽出し、それぞれ類型化する。さらにそれらの相互関係等の分析に基づき、評価手法の特徴を明らかにする。

4-2. 評価の観点および評価軸に関する分析結果

「評価の観点」(Table2)は「地域社会関連」「人物関連」「建築物関連」の3分類をもとに16類型、「評価軸」(Table3)は7類型に整理できた。

4-3. 評価の観点および評価軸に関する考察

a) 評価の観点

分析結果をFigure2に示す。NRの分析対象の約8割が「A. 地域社会関連」で占めていることが分かった。これは、その地域における日系人の活動に価値を見出していることが読み取れる。その中でも小分類に着目すると、「A-1-1. 農業・漁業」の割合が高い。これは、日系人が他産業に比べて参入しやすい農業に従事し、

Table2. Types of Evaluation Perspectives

大分類	中分類	小分類
A 地域 社会 関連	A-1. 日系人集住地区等における産業との関わり (産業)	A-1-1. 農業・漁業
		A-1-2. 商業
	A-2. 日系人特有の生活文化との関わり (文化)	A-2-1. 食
		A-2-2. 社交・レクリエーション
		A-2-3. 祭事・集会
		A-2-4. 信仰・宗教
	A-3. 移民の生活上特に必要とされた生活関連施設との関わり (生活関連施設)	A-3-1. 医療
		A-3-2. 情報
		A-3-3. 宿泊
	A-4. ならではの教育との関わり (教育)	
A-5. 移民史上の主要な出来事との関わり (移民史)		
B 人物 関連	B-1. 日系人社会において著名な業績を残した人物との関わり (名士)	
	B-2. 社会において医療に従事した日系人医師との関わり (医師)	
C 建築物 関連	C-1. 日系人建築家との関わり (日系建築家)	
	C-2. 日系人技術者との関わり (日系技術者)	
	C-3. 特徴的な建築様式・意匠との関わり (様式・意匠)	

Table3. Types of Evaluation Criteria

評価軸	内容
I. 先導性	日系人社会や地域産業・経済を牽引するなど、その発展に先導的な役割を果たした施設や人物などを評価する軸
II. 貢献性	日系人の日々の生活や地域産業・経済を支え続けるなど、維持・向上に貢献した施設や人物などを評価する軸
III. 拠点性	日系人社会における交流や催事などを行う場として、拠点的な役割を果たした施設などを評価する軸
IV. 象徴性	日系人社会における社会史や日系人に関わる移民史上の主要な出来事と関連するなど、日系人の歴史を語るうえで象徴的な存在である場や施設などを評価する軸
V. 代表性	おもに日系人に関わる建築物などに関して、特定の建築家や技術者、あるいは様式・技術との関わりにおいて、代表的な存在である場や施設などを評価する軸
VI. 独自性	おもに日系人に関わる建築物などに関して、個性的もしくは希少な存在である場や施設などを評価する軸
VII. 典型性	おもに日系人に関わる建築物や庭園などに関して、特定の地域や時期に多数存在するなど、典型的な存在である施設などを評価する軸

勤勉な労働によって地域社会における社会的地位を高めるとともに、カリフォルニア州の農業発展に大きな役割を果たしてきたことを反映している。また、「A-2-4. 祭事・集会」「A-4. 教育」の割合がともに高い。これは、日系人社会において教育施設が、単に生活に必要な教養を学ぶ場にとどまらず、日本文化を理解し、日系アメリカ人としてのアイデンティティを形成・継承する上で重要な役割を果たしていたことを示していると考えられる。

b) 評価の軸 (尺度)

分析結果をFigure3に示す。評価軸を整理すると、「II. 貢献性」の割合が最も高いことが分かった。これは、日系人に関わる歴史的環境の価値評価においては社会的価値が重視されていることの特性を反映したものであると考えられる。

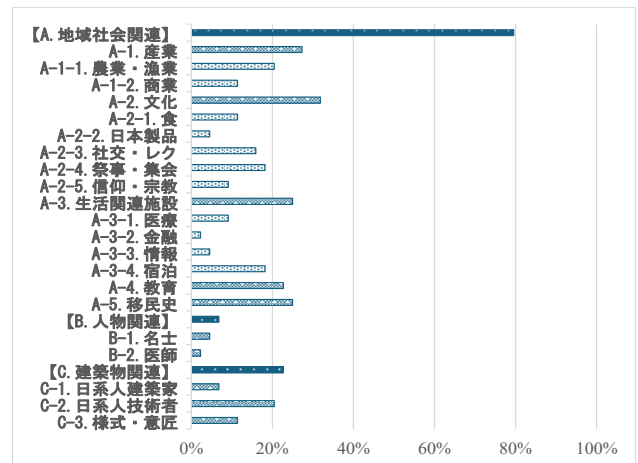


Figure2. Percentage of analysis subjects evaluated from each evaluation perspective

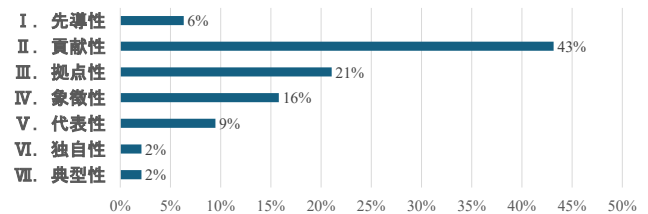


Figure3. Percentage of analysis subjects evaluated by each assessment axis.

5. まとめ

本研究では、カリフォルニア州における NR の全登録物件から日系人に関わる登録物件を抽出し、それらの登録内容をもとに「評価の観点」および「評価軸」の設定を行い、歴史的価値の評価手法を明らかにした。

補注(1) 文化財登録制度とは、1966年に制定された国家歴史保全法 (National Historic Preservation Act) に基づき設けられた制度であり、米国国立公園局 (National Park Service) が所管し、州の歴史的環境保全全部 (State Historic Preservation Office) が運用を担っている。
参考文献(1) 阿部貴弘: 米国ハワイ州における日系人に関わる歴史的環境保全に関する基礎的研究—歴史的価値の評価手法に着目して—, 土木学会論文集 D3, 77 巻 4 号 p.355-374, 2021[2]中尾太一: 米国ワシントン州における日系人に関わる歴史的環境保全に関する研究—価値評価の観点及び評価軸に着目して—, 土木学会全国大会年次学術講演会公演概要集, 78 巻, IV-27